

放射線治療関連の診療を受けられた患者様へ（臨床研究に関する情報）

本院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けて実施します。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》全国レセプトデータによる放射線治療実態の定量的解明

《研究機関名・研究責任者》関西医科大学附属病院・放射線治療科 中村 聡明

《研究の目的》

本研究は、厚生労働省の匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）に収載された全国レセプトデータを用いて、我が国における放射線治療の実施実態を患者単位で定量的に明らかにすることを目的とする後ろ向き観察研究です。医科入院・外来レセプト及びDPCデータから放射線治療関連診療行為を抽出し、年次推移、疾患別・治療法別・地域別の分布を記述することで、全国の放射線治療データベースの基盤構築を目指します。

《研究期間》研究機関の長の許可日～西暦2028年8月31日

《研究の方法》

● 対象となる患者様

2009年4月1日から2026年3月31日までの間に、全国の医療機関において放射線治療関連診療行為が確認された方

● 研究に用いる情報の種類

通常の診療の中で作成・保存された匿名化済みのNDBデータを利用します。研究に用いる情報は次のようなものです。

NDBの情報：医科および歯科入院・外来レセプト及びDPCデータに含まれる診療年月、年齢（又は年齢階級）、性別、傷病名コード、放射線治療関連診療行為コード、算定日、回数・数量・点数、匿名化後医療機関コードなど

これらの情報には氏名、住所、被保険者番号など個人を直接特定できる情報は含まれておらず、研究者が個人を識別することはできません。

《情報の利用又は提供を開始する予定日》

2026年6月1日

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の研究対象者の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

預かりした情報は、厚生労働省により匿名化された状態で提供され、厳格な安全管理措置のもとで取扱います。研究で得られた結果を学会や論文等で公表する際には、個人が特定されることはありません。なお、本研究では研究者が個人を識別できないため、ご本人の情報のみを特定して利用停止することはできません。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は関西医科大学医学部放射線科学講座の研究費および日本学術振興会科学研究費助成事業（基盤研究（B）26K02380 研究代表者：中村 聡明）の助成を受けて実施します。外部の企業等から研究結果に影響を及ぼす資金の提供は受けておらず、研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って適切に管理しています。なお、解析支援のため株式会社 Zetta テクノロジー株式会社に業務の一部を委託しますが、委託先との契約及び管理手順に基づき、情報の安全管理を徹底します。

*この研究に関するお問い合わせは以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院 放射線治療科 担当：中村 聡明

大阪府枚方市新町 2-3-1

電話 072-804-0101（代表） FAX 072-804-2547